

九月七日

常磐新報

定額一圓二角五分
 零售五分
 郵政特准掛號認爲新聞紙類
 發行所 常磐新聞社
 印刷所 常磐印刷局
 電話 五五五番

佛敎 月姫 【三】

蝸庵生

二、悪魔の毒矢
 チャンドラと月姫の楽しいたはむれを掌葉樹のかけからジツと見てゐるものがある。これはペレナスのボクサー王で、王は國事を宰相にまかして、二枚の蓑衣を纏ひ、五つの武器に身を堅めて、ヒマラヤの山に遊行してゐたのである。

王は食後の水を求めに小川の傍とりにやつて來ると妙なる葦笛の音につれ、優しい唄聲が聞えるのでこれは何事ぞと、足音をしのばせて近より、彼等の唄と舞に見惚れてゐる。そして美しく婉かな月姫をみて戀に囚はれてしまつた。この戀をかなはせるにはチャンドラを殺すより外はない。チャンドラを殺して月姫を妻にしてやろうと悪魔の心を起して、手にしてゐた悪矢を、夢中で唄ふてゐるチャンドラに向けて放つた。

哀れ、チャンドラは「アッ」と云ふ聲と共に花の床に倒れた。

月姫は驚いて抱いた、チャンドラは空を掴んで苦しむ、胸からは熱い血はドロ

と流れ、薄衣を通して白銀の沙に黒くにちむのである。

真青になり髪をふり亂して月姫は

「チャンドラよ、チャンドラよ」

と耳に口を當てて、呼べどチャンドラは苦しみ悶えるばかりである。月姫は毒矢を抜き、手を傷に押し當て

○朝 味噌汁：大根
 小皿 やきのり

【晝】焼物 鮮魚鹽やき
 小井 干瓢ふくめ

【晚】フライ 芝海老
 小井 白和へ人參
 こんにやく付合せ
 リンゴ衣揚

流れる血潮を止める、熱血は手に傳つて流れる。

チャンドラは唇をよるはせ、額から冷めたい汗はにぢみでる、苦しみの聲をしぼつてきれぎれに

あゝ、苦し
 あゝ、苦し
 血しほは流るし

月の姫よ
 汝の手を
 汝の手を

我が胸に當てよ
 呼吸は迫る
 心は 汝に

惱みあこがる
 心は汝に残る
 あゝ、死は近かつきぬ

いきは苦るし
 眼は見えぬ
 身は沈み行くを覺ゆ

あゝ、苦し
 生命は絶ゆる
 心は 汝に
 惱みあこがる

月姫は悲に堪えず、堅くかたくチャンドラを抱き、

「チャンドラよ、チャンドラよ、死んぢやいややチャンドラ、お前一人で死んで行くの、いや、いや、あゝ、チャンドラ、どうしたらいいだろう」

大聲をあげて顔をすりつけて泣く、チャンドラのいきはだんだん細くなり、身体は冷めたくなつて行く。

三、魔王の誘惑
 月姫は涙に曇つた顔を上げると、そこには、黄衣を纏ひ、武装した恐ろしい悪魔の王は立つてゐる。月姫は怒を怖にふるえて飛び下り、我が胸を押へてジリ

りと去る。魔王はそろそろと迫る。

木村病院

平町新川町十九
 電話一六四番

平町南町五〇

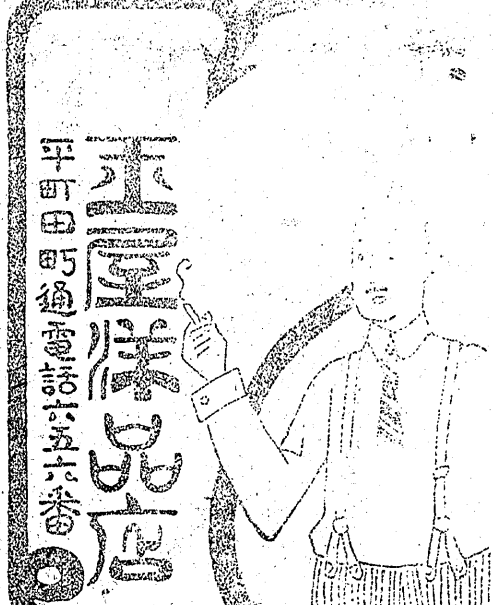
根本婦産科醫院

(手術室完備)
 (入院隨時)

根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

平町田町通電話五六六番

玉屋洋品店




平町田町六九

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町新川町十九
 電話一六四番

喜多流 白土會

入會隨時

和洋 片寄製作店

其他裝飾品一般
 御用命は迅速に御努め致します
 製作販賣 諸官衙 御用達
 各學校

平町五丁目四
 電話四八四番

金成醫院

外科 一般
 内科 一般

平町田町(電三五八)

開院廣告

平町 磐城共濟病院
 電話六四二番

診療科目……

- 内科 院長醫學博士 長谷部喜久
- 小兒科 醫學士 多田籌雄
- 外科 東京醫學士 市川繁
- 耳鼻咽喉科
- 性病科
- 産婦人科 醫學士 草刈邦彦 (毎週一日曜日)
- レントゲン科 醫學博士 長谷部喜久
- 藥局長 藥劑師 吉本孝平
- 事務局長 高畑清志

◎診療時間 午前八時ヨリ午後六時マデ
 ◎往診午後 急患ハ此ノ限リニ非ズ
 △病室完備入院隨意

十日の豫行演習に

敵機！低空を飛ぶ

空襲の假想に防護團活躍

午後一時から夜に掛けて

平町では来る十一、二兩日の防空演習の完壁を期すため十日晝夜に亘つてこれが豫行演習を實施、午後一時仙臺を發した飛行機二臺が同三時頃平町上空に飛來するのを切ッ掛に『敵機空襲』と假想し同時に全町に亘つて警報の傳達を行ひ、夜間は午後六時に警報を發令して燈火管制を實施、同七時十分前後更に飛來する飛行機一臺の襲撃に備へて全町を闇黒と化すが敵機去飛の午後六時四十分、空襲管制を解除、同九時迄戒警管制を繼續する、尙同飛行機は地上高度千米乃至五百米の低空を飛揚する

市制委員

一二名補充

平町會は明八日午前十時から會議室に開き同町十五町目團體事務所側町有地賣却の件及び豫て欠員中の市制施行調査委員の推薦の件その他を附議するが市制委員の補充は縣會議員連沼龍輔第一小學校校長篠山廉の兩氏に決定する模様である

郡下十六の

青年團が闘ふ

既報來る十三日午前八時から警中グラウンドに開催される郡聯合青年團體大會の出場申込みは昨六日の締切日迄に平、内郷、湯本、好間、入遠野、豊間、永戸、大浦、江名、澤渡、夏井、飯野、小川

「健兒行」の感激

川崎生

大島三原山の東山村麓に於ける少年團實習所の實況は渡邊兄が、連日、感激のペンを走せた通り、吾々の修養生活の上に、至極齋らす處の効果が多かつた。

絶した難行苦行であつた丈に、得る處の收穫は非常に大きかつた」と云はれて居る事に依つても、如何に「健兒行」の總べてが、吾々の生活に大きな指紋を與へたかは想像に餘りあると思ふ

今七日午後一時から平第一校に開き来る十三日午前八時から男子は平第一、女子は同第二の各コートに開催される郡下兒童籠球大會の出場校を左記八校と決定した

日滿の野球試合

磐中運動場で對戦

明朗日滿親善のスポーツ交歓

日滿親善はスポーツからと重大な使命を帯びて來朝各地に善戦中の奉天實業野球團は来る十七日午後一時湯本町警中グラウンドに於て炭礦聯合軍と十八日午後一時から警中グラウンドに日立製作所と對戦する

藝妓連の

花柳病撲滅

反應検査を組合が申請
平藝妓屋組合では藝妓七十と見るとは大違ひである、實習七日、夫れは全く息つく暇もない様に慌たゞしく追ひ詰められた汗の生活の連鎖である。

新陣容の

共濟病院

昨六日復活
豫て許可申請中だつた平町共濟病院は五日附許可にな

り愈々昨六日から開院したが院長醫學士長谷部喜久氏は日本赤十字病院に永勤后帝大醫學研究室に入つて研究醫博の稱號を得た本邦臨床界の有名人で同病院の開院あり水戸仙臺間に於ける組織的な大病院が平町に復活されたとい一般から喜ばれてゐる

二年連勝の

平商庭球部

平商庭球部は来る十三日水商主催の下に開催される關東北中等學校庭球大會に出場するが既に今迄に同大會で二年連勝し今年の優勝に依つて優勝旗が永久に獲得出来るので我れ勝たんの意氣に燃えて目下猛練習中因に出場選手は左の如し

熊野神社宵祭

平町道匠小路熊野神社の祭典は今晚であるが餘興に流行歌舞踊、漫談等がある

齊藤訓導披露

平町一校は今七日朝會に新山校から新任の齋藤榮訓導を披露した

四倉蔭市況

出廻り最盛期が過ぎた昨日毎に出廻り數量の減少を來たして居り五日並に六日の取引左の如く

- ◇五日出廻り二百八十一貫九百七十匁、最高四圓十九錢、最低三圓七十四錢、平均三圓九十三錢強
- 掛目三十三
- ◇六日出廻り百九十七貫最高四圓三十六錢、最低三圓八十三錢、平均四圓一錢強、掛目三十三

平町人壽

- △彌宜町六 芳賀源太郎氏 十一女妙子さん
- △十五町目三二 柴田鶴作 二女文恵さん
- △立町八五須田武雄氏二女晴子さん
- △田町七二當時東京市中野

吉田眼科醫院

- △南町五小泉まささん(一七)
- △野方町一丁目五七五新妻芳夫氏(二九)東京市澁谷區長谷廣町三四加藤道子さん(二二)
- △死 亡

無一文のふられ客

甚助を起して放火

揚る火の手を見て驚き

今度は大聲で救ひを求む

優勝刀に

劍士が勇躍

江名町大字江名字南町漁夫 畔田義雄(三)は五日夜十一時頃同町料理業山口屋こと 志賀かつ方に無一文で登樓 飲酒の末對手酌婦に体よく 座敷から逃げられて憤慨、 布蒲を積み重ねて放火した が火の手が大きくなるの に吃驚して大聲で家人を よび消火に努め辛ふじて大 事に至らず消し止めた事發 覺平署に檢舉された

平町縣社飯野八幡宮は来る 十五日の祭典當日剣道大會 を備すが優勝者には飯野神 官高月家に傳る寶刀を授與 する事として既に郡下の劍士 二百餘名の出場申込みあり 何れも腕を撫し當日を待ち 構へて勇躍して居る

啞者の子が

首を轢断さる

内郷村大字白水字濱井場 炭級坑支柱夫要助長男工藤 義廣(一)さんは本七日午前 七時七分頃同字地内入山炭 礦専用鐵道線路を通行中折 悪しく暴進して来た貨車に 轢かれ首と胴體を眞二つに 切斷された無慘な死を平署 瓜生部長が検視したが 同人は啞者のため貨車の 轟音が聴えず逃げ遅れた ものと見られてゐる

半世期前の

家出人に

失踪の訴訟

東京市澁谷區水川五四吉田

櫻丘會の

懇親旅行

プラン決定

既報過般の總會で相談が細 った若女櫻丘會員の懇親 視察旅行は來月七日から二

日間でコースは大体土浦を 經て鹿島に一泊、水郷をめ ぐり成田山參詣の上東京に 出て解散すると

定員の三倍も

乗せて走る

助手は平氣で豪語

亂暴バスに非難の聲

平、小川間乗合自動車は昨 今利用者激増に連れ定員外 の乗客をステップに迄ぶら さげて疾走、見る者の眉を ひそめさしてゐる折柄昨六 日午前十時半頃平町才穂小 路始發のナンバー第一二 三七號は定員の三倍に相 當する十五名を満載發車せ んとしたので二三日前にも 自動車事故のあつた際とて 乗客の一人が萬一負傷人が 出来たら何うすると詰問し た處同車助手は「乗合には 定員は無い、そんなことを かまつてゐたら商賣になら せん」と人を喰つた豪語を放 つて取合はず更に某整骨院 から出て来た足部負傷の松 葉杖の患者をステップに起 たせたまゝ疾走したので乗 客は無論一般から悲難の聲 が高まつてゐる

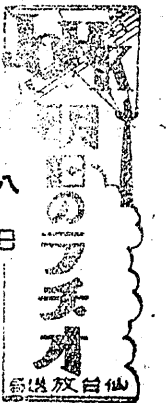
流燈會の

観衆の袂を切る

三少年スリを働く

大膽な手口

五日夜平町鎌田町に於ける 流燈會の大難沓中鋭利な海 軍ナイフを以つて観衆の袂



今夜の部

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「四聯隊の一日」歩兵 第四聯隊陸軍歩兵中尉横 山芳夫
後六、二五 趣味講演「我 が國に於ける結髪の變 遷」江馬務
後七、三〇 講演「我が國

の織原原料に就て」工學 博士厚木勝基
後八、〇〇 萩江節 八島 萩江壽々その他
後八、一五 ミュージカル ドラマ「山の協奏曲」日本 俳優學校劇團：桃谷演奏 所より中繼
後八、五〇 浪花節「巖窟 王」東家樂遊

後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通 報 番組豫告
明日の部
前六、三〇 速成獨逸講座 登張信一郎
前七、〇〇 朝の修「養立 正安國論」守屋貫教
前八、〇〇 家庭講座 育兒十二ヶ月「秋と乳幼 兒の鍛練」大久保直穆
後八、〇〇 連續講談「五 郎藏と初五郎」小金井蘆 洲
後八、三〇 國民歌謡 關 種子他：桃谷中繼

後二、〇〇 婦人時間「物 價のこのころ」前田繁
後六、〇〇 コドモ日本史 「豊臣秀吉」大阪國史劇研 究會
後六、二五 青年の時間 「スポーツマンシップ」小 笠原道生
後七、三〇 講演「液體燃 料とその國策」坂本俊篤
後八、〇〇 琵琶「寛城子 の變」山口速水
後八、三〇 三曲「楳枕」川 瀬里子他
後八、五〇 レヴュー「東 京ちよんきな」古川綠波 一座

低能酌婦

情夫と道行

四倉町新町料理業なべやこ と新妻吉重郎方酌婦相馬郡 小高町生千代こと稻田サヨ (三)は去る九月一日午前三 時頃豫て馴染の茨城縣多賀 郡大津町生當時住所不定漁 夫通稱萬歳の藤七こと川崎 藤七(三)と謀し合せて逃走 行方を晦ましたが同女は幾 分低能で藤七に甘言を以つ て誘惑されたものらしく他 に賣り飛ばされる懼ありま すと昨六日平署へ願出ひた

リヤカーを

避けん

電柱に激突

六日午前七時頃内郷村大字 綴字小島大勝自動車部運轉 手志賀順平(三)は貸切車を 運轉して磐崎村大字下船尾 字中畑地内を疾走中前方か らリヤカーを曳いて来た内 郷村大字宮濱田源造(三)を 除けんとして誤つて傍らの 二本松電氣會社電柱に激突 はつみを喰つた濱田は腰部 その他に全治一ヶ月の重傷

裁判

一東

△既報傷害罪で略式罰金二 十圓に處され正式裁判を申 立た小名濱町字本町二九青 物商澤田來(三)の公判は來 る十日午前九時から平區で 野木判事係り氏家檢事立會

- △見習看護婦 二十二才
- △見習保母 實科女卒 二 十二才
- △給仕 十八才 高卒
- △漁夫 二十七才 尋卒
- △同 二十五才 尋一修
- △店員 十八才 高卒

平職懇介所報告

- ◇ 人を求める方
- △出前持 十八才迄 拾五 圓
- △小店員 十九才迄 給十 圓 尋卒以上
- △雜役 二十才迄 給十圓
- △トラクタ助手 二十才前 後 給面談
- △女中 二十才迄 給六圓
- △女中 十五才位 給面談
- △寫真術見習 二十才迄 給仕着小使 高女卒程度

職を求める方

- △見習看護婦 二十二才
- △見習保母 實科女卒 二 十二才
- △給仕 十八才 高卒
- △漁夫 二十七才 尋卒
- △同 二十五才 尋一修
- △店員 十八才 高卒



丸

(明治)

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(書)

二一六 お花落ちつゝ
長五郎はお花が榎本君の
あとを追うて松前に行く
云ふを聞いて

次「お前は大胆だな、女に
しておくのはおしい、しか
しむかふは船で行くこと
てこれからお主が陸地を行
けばとてむかふに行つた頃
には官軍と戦つてゐるであ
らう、して見れば榎本さま
と一緒にゐることは出来ね
え、況してこゝから松前ま
では四百里もある、まアま
ア當分こゝにゐるさるが宜
い」

と止めた、こゝでお花も
考へたは官軍と戦を開いて
ゐるところへ行けばとて榎
本君の幕下に加はるは困難
血を見ぬうちに捕へられる
は残念、まづ當分こゝにゐ
て世の状をよく見て臨機の
處置を取らうとかう決心し
た、そこで或時は男姿とな
り又は女となつて長五郎の
もとに客人と云ふ名義で足
を止めてゐた、長五郎は駿
府の官軍總督府の御用を聞
いてゐる、それは幕府の家
來だなどとして偽浪人が
在方の富豪を脅かして幕府
興復のために戦ひを開くこ
つき、その軍費を差出せな

どと申して多分の金を強奪
する、それを長五郎が取締
る、お花の土井伊織は長五
郎の代理としてこれら偽浪
人をおさへたが女でこそあ
れその當時剣道の神と云は



れた桃井春造から鏡心明智
流の極意をゆづられた腕と
て偽浪人の三人や五人おさ
へるは易いこととす、それ
故長五郎はお花をおもく用
ひた、と東海道三州二夕
川の堀越藤左衛門と云ふ俠
客が居る、この藤左衛門が
お花の度量のあるところと
その腕に惚れ込んで兄弟分
の盃をした、こゝへお花が

遊びに来たが今日は男の扮
装脇差をさして髪は鬘に取
り上げた、衣類も質素たも
のを着てゐる、何うみても
男ですがしかし男にしては
奇麗です、藤左衛門は酒を
出してもてなした、すると
奥に刀なき咳が聞えて女の
話聲がもれる
花「堀越の、客があるやう
だね、さつき便所へ行つた
時十九か廿になる残に描い
たお姫様のやうな上品な女
が臺所から土瓶をさげて奥
へ行つたがあれはお前のお
妻かえ」

と問はれて藤左衛門はニ
ヤリと笑ひ
藤「そんな色氣のあるもの
ぢやアねえ、あれは客人さ
しかも夫婦仲れの客人だ」
花「何う云ふ縁故でこゝへ
たづねて来たの」
藤「旅人ではあるが俺たち
とは稼業ちがひ二人とも立
派な身分だ、男は桑名の松
平様の家來で、女は京都の

儒者の娘だ」
花「おやそは珍らしいお客
様が来たね、なんで二人の
世話をするの、定めしこれ
には譯もあらう」
藤「まア兄弟、聞いてくん
な」
と云ひつゝお花に杯をさ
し自分も一口飲んで
藤「今から十日ばかり前の
ことだが、赤坂の次郎兵衛
のもとまで用があつて行つ
たそのもどり、豊川の手前
まで来ると松並木で侍が急
病でくるしんでゐる、それ
を若い女と三十四五になる
家來らしい者が介抱してゐ
る、見過ごして行くことも
出来ねえから駕を雇つてこ
ゝへ連れ込み早速醫者を呼
んで療治をしたところがい
ゝ鹽梅に大病も落ち着い
たソコでこの者でこれか
ら何處へ行くと聞くとその
侍の云ふにはあなたは顔役
衆で世間をひろく渡るから
お話し申すが、吾々共は師
匠の仇また父の敵を討つた
めに三年あまり旅から旅と
渡りあるき今度遠州路に手
掛を得て岡崎よりその地を
さして參る途中俄に發病い
たし並木の肥料になると覺
悟したがあなたのために助
かつたと、かう云ふんだ」
花「敵をさがしてゐるの、
それは今時珍らしいことを
聞くものだ、二人をこゝへ
呼んでください、會つてく
わしくその事を聞き、次第
に依つてはわたくしも腕賃
をしてやるよ」
藤「そいつは豪氣だ、それ
を聞けばあの人々が喜ぶで

あらう」
とこゝで藤左衛門がその
武士夫婦をこれへ連れて來
た。

本日 家庭薬 必備
皮膚外傷
に傷に
に化粧

平町 町田 町阿
部 藥 舖

美味 鯉鹽から
節 當店特製

魚問屋 榮盛賀志
目丁四平 番三一二話電

計時 高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集委細面談。

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話 六八番
醫學士 吉田久雄

夏は！
キヤンプとハイキング
いつもお供は
マイコーカメラ
海も良し!!! 山も良し!!!
これさへあればいつも朗か楽しい旅行
このカメラならどんな素人でもキレイな寫眞が直ぐ
撮れます。

トウコーカメラ 特約店
M.S.カメラ

いづみや玩具店
カメラ部

外科一般 レントゲン科
内臓外科
北川外科
平町新川町二七(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
小林良次
電話 四六四番

(血液検査毎日)
イッデモ入院出来マス